

エネルギーと環境

—再生可能エネルギーの有効利用に電池が果たす役割—

資源枯渇、大気汚染などの地球環境問題から再生可能エネルギーの有効利用が望まれている。再生可能エネルギーを電気エネルギーとして用いるには、発電された電力を貯蔵する蓄電池、バイオマス燃料を直接電気エネルギーへ変換できるバイオ電池などの電池が必要不可欠である。本フォーラムでは再生可能エネルギーを使いこなすための電池に焦点をあて、この分野の理解を深めたい。

13:00 受付開始

13:30～13:40 開会の挨拶

講演

◆ 13:40～14:20 「再生可能エネルギーをためる蓄電池 —現状と将来展望—」
安部 武志(京都大学大学院 地球環境学堂 教授)

◆ 14:20～15:00 「レドックスフロー電池による電力利用の実際」
柴田 俊和(住友電気工業株式会社 エネルギー・システム機器開発部)

◆ 15:00～15:10 休憩

◆ 15:10～15:50 「バイオ電池・バイオ電解—酵素を触媒としたエネルギー・物質変換—」
加納 健司(京都大学大学院 農学研究科 教授)

15:50～16:40 総合討論

コーディネーター: 福塚 友和(京都大学大学院 地球環境学堂 准教授)

16:40～16:45 閉会の挨拶

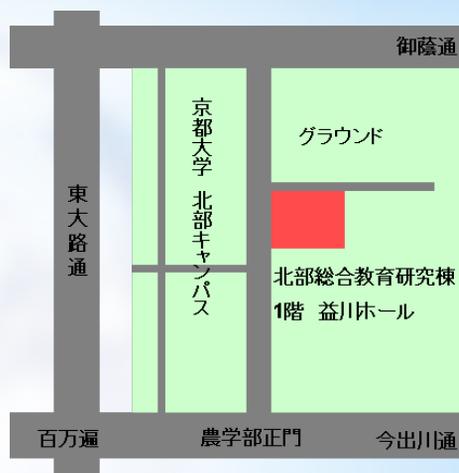
2016年10月29日(土) 13:30～16:45

京都大学 北部総合教育研究棟1階

益川ホール

参加無料, 先着170名まで

(残席がある場合は当日参加受付可能)



【お問い合わせ先】

京都大学地球環境フォーラム事務局: 地球環境学堂

<http://www2.ges.kyoto-u.ac.jp/activities/seminar/global-environmental-forum/>

Tel: 075-753-5630 Fax: 075-753-9187

参加を希望される方は、事前にwebもしくはファックスでお名前、ご所属(差支えなければ)を添えてお申し込みください。

※講演者、講演内容などは事前の予告なく変更することがございます。

主催: 京都大学大学院地球環境学堂

協賛: CREST「多孔性電極中のイオン輸送現象の解明と高出力電池への展開」

京都大学教育研究振興財団

後援: 森里海連環学教育ユニット